

教科（科目）	保健体育（保健）	単位数	1 単位	学年 （コース）	2 学年 （普通科）
使用教科書	現代高等保健体育（大修館）				
副教材等	現代高等保健体育ノート（大修館）				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	卒業までに次の資質・能力を育成する。 ① 「深慮にして実践」「誠実にして勉勵」「和親にして敬愛」の教育目標の下、物事に主体的に取り組む姿勢を育成する。 ② 自身の健康を保ちつつ、社会的な自立を目指し、多様性を尊重しながら、他者と協働して取り組む力を育成する。 ③ 教科横断的な視点を持ち、様々な学習活動をととして創造力、行動力、コミュニケーション能力を育成する。
カリキュラム・ポリシー	資質・能力を育成するために、次のような教育活動を行う。 ① 生徒一人ひとりの目標や進路希望が実現できる教育課程を編成し、教育活動を展開する。 ② 3年後の進路を見据えた学力の定着と活用に向け、ICT機器を活用するなどして、主体的・対話的で深い学びと探究的な学習を行う。 ③ 自己の在り方生き方を探究するため「総合的な探究の時間」を主軸に、課題発見・解決、自己表現の育成に取り組む。 ④ 様々な状況や環境に対応し自己の力を向上させるためボランティア活動やインターンシップ、外部検定試験など生徒が自ら挑戦できる機会となる情報を積極的に提供する。 ⑤ 学校行事や部活動などの生徒の主体的な活動の支援に向け、安全・安心な教育環境に努める。

2 学習目標

保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。

- (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。
- (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
- (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

3 指導の重点

- (1) 個人及び社会生活における健康・安全についての理解を深めるとともに、技能を身につけさせる。
- (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養わせる。
- (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境作づくりを目刺し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を身につける。

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。

5 評価方法

評価方法	各観点における評価方法は次とおりです。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	以上の観点を踏まえ、 ・ 定期テスト ・ 学習カードの記述の分析 ・ レポート等の提出物の内容 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 定期テスト ・ 学習カードの記述の分析 ・ レポート等の提出物の内容 ・ ペアワークやグループワークでの発言や取組（他者や仲間への関わり方等）の観察 などから評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・ 学習カードの記述の分析 ・ レポート等の提出物の内容 ・ ペアワークやグループワークでの発言や取組（他者や仲間への関わり方等）の観察 などから評価します。
	内容のまとまりごとに、各観点 「A：十分満足できる」「B：おおむね満足できる」「C：努力を要する」 で評価します。内容のまとまりごとの評価規準は授業で説明します。		

6 学習計画

月	単元名	授業 時数	領域	教材	学習活動(指導内容)	評価方法
4	01 ライフステージと健康 02 思春期と健康	2	【3単元】 生涯を通じる健康	現代保健体育ノート(大修館)	01 ライフステージと健康の関連について説明できる。各ライフステージで活躍できる社会からの支援について例をあげることができる。 02 思春期における体の変化について説明できる。思春期の心の発達に関わる健康課題が説明できる。	授業中の発言や取組
5	03 性意識と性行動の選択 04 妊娠・出産と健康	3			03 性意識の男女差を、具体例をあげて説明できる。性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができる。 04 妊娠・出産の過程における健康課題について説明できる。妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスをあげることができる。	授業中の発言や取組 ワーク提出等
6	05 避妊法と人工妊娠中絶 06 結婚生活と健康	4			05 家族計画の意義と適切な避妊法について説明できる。人工妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について説明できる。 06 心身の発達と結婚生活の関係について説明できる。結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができる。	授業中の発言や取組
7	07. 中高年期と健康 08. 働くことと健康	3			07 年をとることにもなう心身の変化にはどのようなものがあるのか説明できる。中高年期を健やかに過ごすための社会的な取り組みについて説明できる。 08 働くことの意義と健康との関わりについて説明できる。働き方や働く人の健康問題の変化について説明できる。	授業中の発言や取組 ワーク提出等 定期考査
8	09 労働災害と健康	1			09 労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できる。労働災害を防止するために必要なことをあげることができる。	授業中の発言や取組
9	10 健康的な職業生活 01 大気汚染と健康	2 1			10 職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できる。余暇を積極的にとることの意義について説明できる。 01 大気汚染の原因とその健康影響を説明できる。地球規模の環境問題について、例をあげて説明できる。	授業中の発言や取組 ワーク提出等
			【4単元】 健康を支える環境づくり			

10	02 水質汚濁・土壌汚染と健康 03 環境と健康に関わる対策	4	【4単元】 健康を支える環境づくり	現代保健体育ノート（大修館） 現代保健体育（大修館）	02 水質汚濁の原因とその健康影響を説明できる。土壌汚染の原因とその健康影響を説明できる 03 こんにちの環境汚染の特徴について説明できる。環境汚染を防ぐためのさまざまな取り組みについて例をあげて説明できる。	授業中の発言や取組
11	04 ごみの処理と上下水道の整備 05 食品の安全性	4			04 ごみの処理の現状や、その課題について説明できる。安全で質の良い水を確保するための仕組みと課題を説明できる。 05 行政、生産・製造者による食品の安全性のための対策について例をあげて説明できる。食品の安全のため、私たち消費者が行うべきことを例にあげて説明できる。	授業中の発言や取組
12	06 食品衛生にかかわる活動 07 保健サービスとその活用	3			06 食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できる。食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できる。 07 保健行政の役割について例をあげて説明できる。保健サービスの活用の例をあげることができる。	授業中の発言や取組 ワーク提出等 定期考査
1	08 医療サービスとその活用 09 医薬品の制度とその活用	3			08 さまざまな医療機関の役割について説明できる。医療サービスを受けるときの留意点をあげることができる。 09 医薬品の正しい使用法について説明できる。医薬品の安全性を守る取り組みについて例をあげて説明できる。	授業中の発言や取組
2	10 さまざまな保健活動や対策	3			10 民間機関・国際機関などの保健活動や対策について例をあげて説明できる。	授業中の発言や取組
3	11 健康に関する環境づくりと社会参加	2			11 健康の保持増進のための環境づくりについて説明できる。環境づくりへの主体的な参加が自他の環境づくりにつながることを説明できる。	ワーク提出等 定期考査

計35時間（50分授業）

7 課題・提出物等

各単元ごとに保健ノート、プリントなどの提出があります。

8 担当者からの一言

学んだ知識を日常に生かし、生活習慣等の改善と健康増進を図りましょう。